

フラットスタンリー

フラットスタンリーとは？

自分の分身となる紙人形を郵便で送り、あちこちに旅をして、いろいろな経験をしてもらうプロジェクトです。



▲小美玉市の中学生から送られた手紙を受け取ったアビリン市の子どもたち

例年行われている姉妹都市アビリン市との交流事業は、新型コロナウイルスの影響で直接の交流ができていませんが、フラットスタンリーや手紙などを通して、アビリン市と小美玉市の学生が交流をしています。

市内中学生の感想

この国際交流に参加して、日本の良さや想いを手紙で伝え、新しい世界に触れられたことは、私を成長させてとても素敵な体験でした。

(玉里学園義務教育学校 8年 高野さん)

アビリン市の学校の様子や家のことを知ることができて、すごく新鮮でした。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。とても楽しかったです。

(玉里学園義務教育学校 8年 向山さん)

Information

国際交流協会では、皆様楽しんでもらえるようなイベントを企画しています。そこで、現在実施が決まっているイベントをお知らせします。ぜひ足を運んでみてください！

姉妹都市展
第2弾！！

姉妹都市40周年に向けて
～交流のあしあと～

期間：10月1日(土)
～10月16日(日)
会場：四季文化館みの～れ
陽だまり横丁
(小美玉市部室1069)

お待たせ
しました！！

国際交流ひろば展
～みんな ともだち～

期間：11月5日(土)
～11月13日(日)
会場：空のえき「そ・ら・ら」
ホールB
(小美玉市山野1628-44)

本場の辛さ
体験しませんか？

×切
10/5

スリランカカレー教室

日時：10月16日(日)
10:00～11:30
会場：美野里公民館
(小美玉市堅倉835)
定員：15名(先着順)
申込方法：市民協働課への電話
(☎0299-48-1111)

日本語教室サバイディ 日本文化研修に行ってきました！

2022年6月19日、「日本語教室サバイディ」のメンバーで、牛久・常総方面に研修に行きました。牛久大仏や豊田城、大杉神社を見た参加者たちは、「初めて見ました！とても大きくてびっくりしました！」と言いながら、何枚も写真を撮っていました。

新型コロナウイルスの影響でどこにも行けない生活が続きましたが、この日はたくさんの人と交流ができ、楽しい一日を過ごすことができました。



【問い合わせ】小美玉市国際交流協会事務局 市民協働課 TEL：0299-48-1111 FAX：0299-48-1199

(※)取材は感染対策を徹底した上で実施し、撮影時のみマスクをはずしております。

小美玉市 国際交流通信

Omitama International Report

Vol.20
2022.9.22



日本語教室サバイディ 日本文化研修にて

市長あいさつ



小美玉市国際交流協会 会長
島田 幸三 市長

日頃より、市の国際交流事業に対し、ご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

現在、1,700人を超える外国人の方が小美玉市で暮らしており、文化や習慣の違いを尊重し合いながら共に生活することのできるまちづくりが求められています。

そのような中、小美玉市国際交流協会では、多文化共生の取り組みとして広報紙づくりや、交流事業を実施しています。

また、本市は、アメリカ合衆国カンザス州アビリン市と姉妹都市を提携しております。一昨年度から、新型コロナウイルスの影響で中止していましたが、アビリン市との派遣や受け入れ事業は、多感な学生時代に異文化を肌で感じ、触れることの楽しさを知ることができる良い機会となっています。

今後とも、当協会における活動を通し、本市の国際交流の取り組みを推進してまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

地域の人々が

ハッピーになれる環境づくり

小美玉市には、現在幼い子どもたちを含め、多くの外国人が暮らしています。今回は、外国人の子どもたちと外国人職員がいる幼保連携型認定子ども園「納場保育園」を訪ねました。お話を聞かせてくださったのは、萱場良江園長先生と酒井ゆきえ副園長先生、保育補助として働くスリランカ人のチャラニさんです。



Q1 納場保育園で働くきっかけを教えてください

2年前に日本に来ました。母国では幼稚園の先生でした。スリランカの資格では、日本の幼稚園の先生になることができませんが、保育補助としてなら働くことができると知り、納場保育園に面接に行きました。

Q2 園でどんな仕事をしていますか？

担任の先生のサポート（3歳児から5歳児の世話をする仕事）の他、英語学習を担当しています。

Q3 園で働いての感想を聞かせてください

園の一人一人を大事にするきめ細やかな支援や子どもたちのやる気を引き出す指導、栄養バランスがとれた給食と食育指導など日本の幼児教育は素晴らしいです。日本の幼稚園のことをたくさん学び、将来はスリランカに日本式の幼稚園をつくりたいです。



園長先生、副園長先生にインタビュー！



幼保連携型認定子ども園「納場保育園」
酒井副園長先生 萱場園長先生

Q1 園に外国人のお子さんが在籍するようになったのは？

30年程前からです。これまでに、中国、台湾、韓国、オーストラリア、ドバイ、トリニダード・トバゴなど多くの地域のお子さんをお預かりしました。現在は、台湾、インド、スリランカ、パキスタンのお子さんが在籍しています。

Q2 外国のお子さんが楽しい園生活を送るために、どんなことをしていますか？

外国人保護者から家庭訪問等でじっくり話を聞き、文化や生活習慣の違いを理解することに努めています。その上で、園の教育方針等について少しずつ理解してもらえよう働きかけています。また、外国語録集や翻訳アプリを使って園でのお子さんの様子を伝えたり、持ち物についてもイラストや母国語を添えて分かりやすい工夫を心がけています。国によっては宗教上の理由で食べられない食材があり、それらを除いた給食も提供しています。

Q3 チャラニさんと外国のお子さんを受け入れて、プラスになっていることはありますか？

日常的に国際交流の場があるという点です。チャラニさんの話す英語を聞いて覚え、英語を口にする場面が増えました。外国に興味をもち、地球儀で外国人の友達を探したり、いろいろな質問をしたりするようにもなりました。外国人保護者とは、チャラニさんの通訳でコミュニケーションがスムーズにとれています。

チャラニさんにインタビュー！



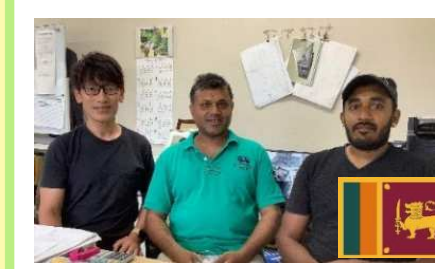
NHK WORLD JAPAN

「Where We Call Home」

に取り上げられました！

スリランカ人で株式会社チャミラ工業取締役 チャミラさんにお話を聞きました。チャミラ工業の小美玉工場では、スリランカ人を中心に33名の従業員が働いています。

株式会社チャミラ工業



▲(左から) 高野さん、チャミラさん、プリヤンさん

Q1 チャミラさんご自身のことについて教えてください

1997年10月20日に初めて来日しました。次に来た時につくばにある会社で働きながら仕事に必要な資格を取りました。難しい仕事でも決してあきらめず、努力して技術を身につけていきました。2008年に独立して今の鉄骨関係の会社を起しました。

Q2 仕事で大切にされていることはどんなことですか？

私の会社はどんな仕事もNOとは言わないで引き受けています。機動力が売りです。また、私にとって従業員が大切な財産であり、彼らの家族の生活も背負っているという責任を感じています。これからもこの思いを持って会社を先に進めていきたいです。

Q3 日本での生活で大変なことはありましたか？

日本での生活や文化の違いで大変だったことは特にありません。日本の食べ物も美味しく好きです。日本語もラジオを聴いたりテレビを見たりしながら覚えました。



コラム

おしえて！スワヒリ語！

ハバリ ザ ムチャーナ
Habari za mchana こんにちは

アサンテ サーナ
Asante sana どうもありがとう



▲カビさんのお母さんが作ったウガリ



ケニア出身
カビさん

▲頭に巻いたカンガ(ケニア風ターバン)がよく似合うカビさん

Q1 どうして日本に来ましたか？

日本で外国語指導を行う教育プログラムがあることを、友人の妹から聞いて日本で働いてみたいと思ったからです。

Q2 ケニアはどんな国ですか？

気候は乾季と雨季が交互に年2回あります。赤道の近くですが、私の出身地タバタは、キリマンジャロの近くで高地なので割と涼しいです。主な産業はコーヒー、お茶、花、果物、コーンなどです。ケニアの主食はウガリ(トウモロコシを挽いて粉にした物に水、お湯を加えて練ったもの)やギゼリ(豆とトウモロコシを煮たもの)です。肉、野菜、牛乳と一緒に食べます。

Q3 日本へ来てケニアとの違いに驚いた事はありますか？

日本では生の魚を食べることで、ケニアでは生で食べないので驚きでした！まだ、お寿司を食べたことがないので、生の魚をぜひ食べてみたいですね。最初は苦手だった納豆が最近私の好きな日本食になったことも驚きです！！

